



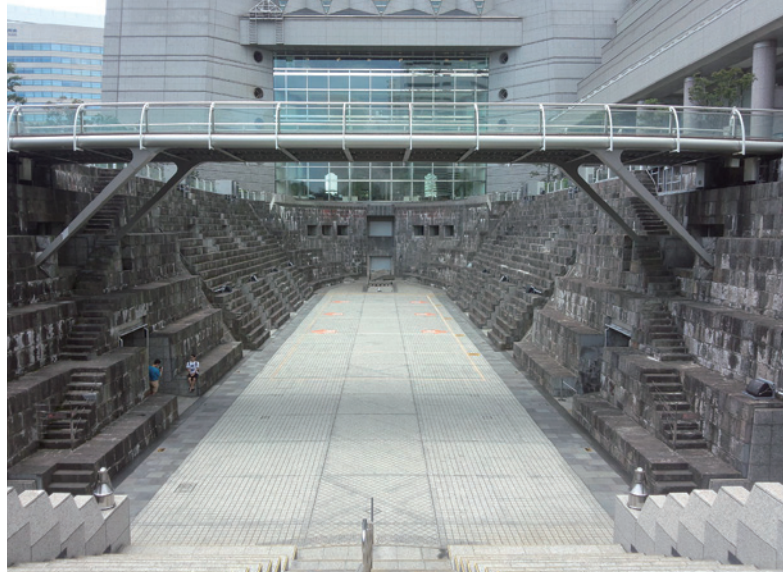
- 〈横浜三塔〉
- ①…横浜市開港記念会館
 - ②…神奈川県庁本庁舎
 - ③…横浜関税
 - ④…横浜開港資料館
 - ⑤…日本大通り



〈帆船日本丸〉は、1930（昭和5）年に建造された練習帆船で、1984（昭和59）年まで活躍。その美しい姿から、「太平洋の白鳥」「海の貴婦人」などと呼ばれていた。

- 〈大さん橋埠頭〉
- ⑥…横浜港大さん橋／国際客船ターミナル
 - ⑦…象の鼻突堤
 - ⑧…象の鼻パーク
 - ⑨…横浜開港150周年記念碑
 - ⑩…新港橋梁

- 〈みなとみらい21／新港地区〉
- ⑪…横浜赤レンガ倉庫
 - ⑫…旧横浜駅プラットホーム
 - ⑬…横浜みなと博物館／帆船日本丸
 - ⑭…ドックヤードガーデン／横浜ランドマークタワー



〈ドックヤードガーデン〉（旧横浜船渠第2号ドック）は、1889（明治22）年に設立。日本に現存する商船用石造りドックとしては最も古く、約1万2千個の積み石が使われている。1993（平成5）年に改装され、横浜ランドマークタワーの隣接地に開設された。

◆（上）クシャットしたデザインはシワ加工のたつぷりサイズにエスニックなブルーがマッチ。シャリ感ある生地をシワ加工、ゆったりとエアリー感で個性的。

（下）透かし編みカットソーで涼感たつぷり夏コーデ。直線裁ちシルエットのカットソーに麻素材の帽子、バッグはエスニック刺繍柄



◆爽快モノトーンコーデにピンクの布バッグを差し色にして。ゆったりしたシルエットにアームと短めの袖が動きやすくオシャレ。



◆ブラウスをブルーに変えてみる。ゆったりめの袖口をボタンで留めて動きやすく軽快に。リュックとハットは、ホワイト×ポップ柄は目を引く防水素材で取出し簡単デザイン。日焼けや熱中症予防もかねてキレイ色のオシャレハットは必需品。



◆夏は長袖のゆったりブラウスで。陽射しに負けないホワイトがイチオシ。身頃がゆったりとしたオーバーサイズ。シャリングは車イスでもシルエットが気にならない。ウエストはゆったりゴムで座っていてもラクチン。タックは多めでヒップにきれいなゆとり。



◆キーワードは「エアリー感」「オーバーサイズ」「粋なこだわり」

コーディネート…『めづるくらし』研究会編集部



〈横浜みなとみらい21〉は、1859（安政6）年に開港した横浜港に面している地域で、「21世紀にふさわしい未来型都市」を目指して開発。大型の客船岸壁と客船施設の建設も進められるなど、さらに新旧の文化が混在する街へと変貌を遂げている。

「開港の道」運河パークから、鉄道廃線跡を利用した1997（平成9）年に開通した散策路〈汽車道〉を通り、〈横浜みなと博物館・帆船日本丸〉へ向かいます。その先には、摩天楼のようにそびえ立つ〈横浜ランドマークタワー〉が見えます。そして、重厚な姿を残す〈ドックヤードガーデン〉を見学。

最後は、日本初の鉄道が開通したときの初代横浜駅があった場所にある〈桜木町駅〉（JR根岸線・市営地下鉄ブルーライン）にて、散歩コースを終了しました。

【坂やスロープの注意点】

車イスを屋外で操作する上で、最も注意しておきたいのが「坂道」と「段差」です。

▼緩やかな上り坂は、歩幅を広げて一歩一歩ゆくり。急な上り坂は、腰を少し下ろし腕を伸ばした状態でしっかりと押します。

▼緩やかな下り坂は、そのまま普通の押し方で前進します。急な下り坂は、後ろ向きの方が安全です。後ろ向きになる場合、後方に注意しながら歩幅を広げてゆくりとさがることが大切。

▼段差を降りる場合は、安全のために後ろ向きで行います。ゆくりさがりながら後輪を降るします。着地後、前輪を上げて後ろにさがり、静かに降ります。

▼必ず一歩かけてから、動作を行ってください。